

モンゴルの友達を迎えて ～モンゴルデーを開催しました～

平成30年3月4日（日）に生涯学習センターにて、モンゴルから日本への留学を目指す新モンゴル高校の卒業生を迎え、モンゴルデーを開催しました。

新モンゴル高校は岩倉市の中学生海外派遣事業で交流のある学校で、中学生海外派遣団がモンゴルに行った際は、生徒の家庭でホームステイをしたり、一緒にキャンプをする等しています。また、新モンゴル高校からも毎年岩倉市に生徒が派遣されており、相互に交流を続けています。モンゴルデーには中学生海外派遣団のOBも参加し、久々の再開を喜び合ったり、互いの文化を体験したりと、大いに盛り上がりました。

～参加者の声～

先日のモンゴルデイで、これから日本に留学するモンゴルの人たちと交流しました。以前僕がモンゴルへ行った時に出会った学生達とも何年かぶりに会うことができ、嬉しかったです。



▲モンゴル人作家バトバヤル先生にご講義いただきました

同時に、同年代の海外の学生が勉学のため頑張っている姿を見られ、自分にとっていい刺激にもなりました。

交流会の中でモンゴル人作家のバトバヤル先生が講演を下されました。そこでは遊牧民の世界観と家畜の「慰め」の文化について、興味深い話を聞くことができました。

また、交流会に来たモンゴルの人たちは伝統衣装とブーツを着用しており、そこで印象に残ったのが「革」のにおいです。においは記憶と強く結びてい

るとよく言われますが、このにおいを嗅いだ時、自分のモンゴルでの記憶が鮮明に思い出されました。それと同時に、自分と異なる文化を持った人たちと交流しているという事も強く自覚しました。

（国際交流協会 安田 航希）



▲モンゴルの踊りを参加者皆で踊りました。

平成30年度活動計画

交流事業

〈多文化共生〉

- ・セミナー・交流会（随時）
- ・英語をしゃべろう会（毎月第1月曜日）
- ・世界のお総菜（第1回7月 or 9月に中国、第2回秋にノルウェーを予定）
- ・デイキャンプ（企画中）
- ・市民ふれ愛まつり（11月10～11日）

〔新モンゴル高校からの留学生との集い〕

昨年度に続き、来年4月から日本各地の大学に留学する新モンゴル高校の卒業生が事前研修を岩倉に滞在して行う予定です。この期間中に交流会を予定しています。

〈ホストファミリー活動〉

- ・第1回：たい焼きづくりを体験（6月）
- ・第2回：秋を予定

〈ピナトゥボ訪問団OB活動〉

- ・ピナトゥボボランティアへの助成（2～3月に1名派遣予定）

参加者大募集！！

英語で楽しくおしゃべりしませんか

「世界のお総菜」の講師してくださる方、身近にいませんか。ぜひ、ご紹介ください。

広報事業

- ・会報紙 COM
年4回（6月・12月全戸配布）
- ・リアルタイム協会だより
- ・ホームページ
- ・Facebook
- ・協会案内リーフレット

岩倉団地の外国人を中心に夏休み交流会を予定

地域支援事業

〈外国人支援〉

- ・ヒアリング（随時）
- ・東小夢クラブ支援
- ・外国人健康相談・法律相談（3月を予定）

東小校区の児童、保護者、市内在住在勤の希望者による交流を行う

〈日本語教室〉：日本語ひろば岩倉
（毎月第1～4水曜日開催）



受託事業

〈中学生海外派遣事業〉

- ・派遣先：モンゴル
- ・日程：8月3日～10日
- ・対象：中学生14人、引率者：3人

運営事業

総会：4月22日
理事会：毎月第1金曜日

うるがむ to Iwakura!! Vol. 6

第7回は、昨年8月22日から日本に留学に来ているマリー・ゲチーナ・ロブフ (Marie Guetchina Leboeuf) さんにインタビューしました。彼女は、カナダのケベック州出身の高校生です。日本では、岩倉総合高校に通っています。



◀マリーさん。学校が楽しい！

編集者 (以下「編」) : カナダと日本の学校の違いでびっくりしたことはある？

マリー (以下「マ」) : 私は日本に来る前に、日本についていろいろ調べました。日本に留学している子のブログもたくさん読みました。だから、日本の学校のことは少し知っていました。でも、掃除のスタイルの違いにびっくりしました。カナダの学校には、掃除の時間はありません。校内に設置されているコピー用紙のゴミ箱のゴミを片付けるだけです。「ゴミを集めてください」と言う先生のアナウンスが入ると、生徒はゴミを回収場所に持っていきます。校内の掃除や、その他のゴミ箱のゴミの片付けは、清掃業者がやります。日本の学校では、掃除を生徒がやることは知っていましたが、カナダと同じようにゴミ箱のゴミを集めるだけだと思っていました。毎日掃除をすることに本当にびっくりしました。私は今、階段掃除の担当になっています。

それと、学校での昼食の時間が短いのにびっくりしました。このことは、来る前に調べた中にはありませんでした。カナダの昼食時間は約1時間半あります。

来日したばかりの頃は急いでお弁当を食べていましたが、今では友達と話す時間もあります

編 : カナダに持ち帰りたい日本のものは何かある？

マ : 日本のエンターテインメント施設と城かな。

カナダには高校生が楽しめる場所が少ないです。だから、1人で携帯ゲームをしている子が多いです。日本には、高校生に興味のあるものが集まった施設が多いです。もしカナダにそういう場所があったら、カナダの高校生もきっと楽しめると思います。そして城は、昔の建物だから見ているだけで昔にタイムスリップした不思議な感じになれます。私はインターネットで日本の城を見たことがありましたが、今回日本に来て初めて本物の城を見ました。犬山城と名古屋城を見ました。ライトアップされている名古屋城は、本当に素晴らしかったです。私の住んでいるケベック州にもフロントナックという城があります。今はホテルとして使われています。日本の城とは、外観も内観も全く違います。日本の城を、カナダの人にも見せてあげたいです。

編 : ありがとう。残りの日本での時間楽しんでね。

フィリピン派遣報告

ピナトゥボ活動助成事業として、1月28日から3月14日まで現地でボランティア活動を行って来た、宮田拓夢さんが帰国し、フィリピンで過ごした日々を報告してくれました。

その一部をご紹介します。

日本では記録的な積雪を記録していた時期、毎日30度を超える暑さの中で、一月半の日々を過ごしていました。

僕が滞在したのは、フィリピンのフロリダブランカという町です。フロリダブランカはパンパガ州にあります。州都サン・フェルナンドから車で約30分、クラーク国際空港のあるアンヘレスから高速道路を使って約20分、1991年に噴火したピナトゥボ山の麓にあります。僕はそこで、医師であるボトン先生の下でボランティアとして現地の学校で日本についての授業を行ったりしました。



▲かけがえの無い日々でした。

現地の小学校では日本のアニメや漫画が大人気で、授業の内容に組み込むと、皆目を輝かせて話に聞き入ってくれました。また、現地の子供達は、突然やってきた日本人である僕も巻き込んでクラスメイト

の誕生日祝いをやったりと、人懐っこくてとてもエネルギッシュでした。高校にも行きましたが、その時は生徒の皆が真剣に僕の授業に聞き入ってくれたので、大変緊張しました。今まで僕を教えてくれた先生方の御苦労が偲ばれました。ボランティアとして働いている時以外は、ホームステイ先の子供と遊んだり、ボトン先生に連れられてフィリピンの各地を見学させてもらったりしていました。滞在中にフロリダブランカに大きなスーパーマーケットが出来たり、スマートフォンが広く普及していたりと、生活の変化を肌で感じ取ることもできました。

今回、フィリピンで過ごした時間は僕にとってかけがえのないものとなりました。滞在中お世話になった皆さん、支援して下さった岩倉市国際交流協会の皆さんに、感謝の意を表したいと思います。
(宮田 拓夢)

会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。平成30年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300
口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 1口1,000円とし、会計年度ごとに個人会員(家族会員)は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問 合 先 内藤 (0587-66-7347) 出野 (0587-37-2495) 竹安 (090-1230-2444)

会 報 COM第95号(2018年6月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)
発 行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印 刷 大橋印刷所 <http://www.iies.info/>